8.2 アウトリガー	⑴　ビーム、ビームボックス及びフロート	①　ビームを伸縮させて引っ掛かり等の異常の有無を調べる。	①　引っ掛かり等がなく、かつ、円滑に作動すること。
		②　ビーム、ビームボックス及びフロートの亀裂及び変形の有無を調べる。 亀裂の存在が疑われる場合は探傷器等で調べる。	②　亀裂及び著しい変形がないこと。
	⑵　ロック及びロックピン	①　ロック作動時の異常の有無を調べる。	①　正常に作動すること。
		②　ピンの変形及びチェーンの損傷の有無を調べる。	②　変形及び損傷がないこと。
	⑶　ジャッキ	ジャッキを上下させて、亀裂、変形及び摩耗の有無を調べる。	亀裂、著しい変形及び摩耗がないこと。

9　車体関係等

検査対象の構造及び装置		検　査　方　法	判　定　基　準
9.1 車体関係	⑴　ターンテーブル	亀裂及び変形の有無を調べる。 亀裂の存在が疑われる場合は探傷器等で調べる。	亀裂及び著しい変形がないこと。
	⑵　旋回ベアリング及び旋回ギヤ	①　緩旋回を行って旋回時の引っ掛かり及び異音の有無を調べる。	①　引っ掛かり及び異音がないこと。
		②　旋回ギヤの亀裂及び摩耗の有無を調べる。	②　亀裂及び著しい摩耗がないこと。
		③　取付けボルトの緩み及び脱落の有無を調べる。	③　緩み及び脱落がないこと。
		④　ベアリングシールの損傷の有無を調べる。	④　損傷がないこと。
	⑶　旋回減速機	①　旋回動作中の異音及び異常発熱の有無を調べる。	①　異音及び異常発熱がないこと。
		②　ケース内の油量及び油の汚れの有無を調べる。	②　油量が適正で、かつ、著しい汚れがないこと。
		③　ケースからの油漏れの有無を調べる。	③　油漏れがないこと。
	⑷　旋回ロック	①　ロックを操作して、掛かり具合を調べる。	①　確実にロックされること。
		②　ロック部の亀裂及び損傷の有無を調べる。	②　亀裂及び損傷がないこと。
	⑸　カウンターウェイト	取付けボルト及びナットの緩み及び脱落の有無を調べる。	緩み及び脱落がないこと。
	⑹　サブフレーム	①　亀裂及び変形の有無を調べる。 亀裂の存在が疑われる場合は探傷器等で調べる。	①　亀裂及び著しい変形がないこと。
		②　取付けボルト及びナットの緩み及び脱落の有無を調べる。	②　緩み及び脱落がないこと。
	⑺　ブーム受台	①　亀裂及び変形の有無を調べる。	①　亀裂及び著しい変形がないこと。
		②　緩衝ゴムの損傷及び脱落の有無を調べる。	②　著しい損傷及び脱落がないこと。
		③　取付けボルト及びナットの緩み及び脱落の有無を調べる。	③　緩み及び脱落がないこと。
	⑻　キャブ ⑼　座席 ⑽　シートベルト ⑾　昇降設備及び滑り止め ⑿　表示板 ⒀　スイッチ類及び灯火類（灯火装置、警報装置、方向指示器、窓拭き器、デフロスターを含む。） ⒁　計器類（油圧計、電流計、燃料計、油温計、水温計、速度計、表示灯を含む。） ⒂　後写鏡及び反射鏡	この表の「2　下部走行体（トラック式のものに限る。）」の検査方法及び判定基準を適用すること。	
	⒃　給油脂	①　各部の給油脂状態を調べる。	①　給油脂が十分であること。
		②　自動給油脂装置の作動の適否を調べる。	②　正常に作動すること。
9.2 総合テスト		走行及び各作業装置の操作を行い、機能することを確認し、異常振動、異音及び異常発熱の有無を調べる。	各装置が正常に機能し、かつ、異常振動、異音及び異常発熱がないこと。